

<タイプ1>

- ・「残した言葉」を見るのはとても良い経験。
- ・非常に興味深い動画でした。
- ・歴史が得意なので、今日の講義は楽しかった。
- ・吉田松陰の言葉を聞き、強く心に響きました。
- ・吉田松陰の言葉に共感することが多かった。
- ・名言は誰かが言ったら価値がなくなると思う。
- ・福沢諭吉「あまり人生を重く見ず捨て身になって何事も一心になすべし」

<タイプ3>

- ・岡倉天心の「花は人間のように臆病ではない。花によっては死を誇りとするものもある。日本の桜がそうで、彼らはいさぎよく風に身を任せるのである。」エニアグラムは遠からず近からずな結果だった。
- ・手本となる偉人や人物を捜してみたいと思った。
- ・福沢諭吉以外を先生と呼ばないことに驚いた。
- ・企業も人を採用する時に、エニアグラムを利用しそう。より具体的に分析できる調査はないですか？
- ・高杉晋作は短い生涯の中で日本を旅し、さらには上海にも行き、思想を重ね、200もの漢詩を作っている。若くして亡くなってもこうしていつまでも名前が語り継がれているのはすごいことだと思った。
- ・「ペンが剣より強し」という言葉は気に入った。
- ・動画が途切れ途切れだった。もう少し歴史に興味があれば理解できたかも。
- ・いろいろな動画を見て為になった。
- ・福沢諭吉の名言は初めて聴くものばかりだった。残る名言だった。

<タイプ4>

- ・福沢諭吉の「あまり深く考えず捨て身で学問に取り組みなさい」という言葉は励みになった。
- ・吉田松陰の師はいないのか？
- ・吉田松陰の「行き詰った時こそ「面白い」と思えるか、」を思い出し心掛けたい。様々なことを見聞きたい。
- ・松下村塾の存在について知ることができた。サンクチュアリから本も出ている様なので読んでみたい。

<タイプ2>

- ・福沢諭吉「進まざる者は必ず退き、退かざる者は必ず進む。」「天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らず。」「今日も生涯の一日なり」「活用なき学問は無学に等しい」「自分の悪かったことに気がついて改めというのは立派なことだ」
- ・プロジェクトゼミでお世話になっている先生を頼りにしている。岡倉天心の「奉仕は愛情の最高表現であり、愛は受けるよりも与えることを喜ぶ」という言葉が気に入った。タイプ2だからだと思います。
- ・福沢諭吉の「ペンは剣より強し」が気に入った。
- ・今回の講義は有意義だった。昔の時代の政治経済について関心が湧いた。
- ・福沢諭吉の言葉が心にぐっときた。「空想はすなわち実行の原案」というのは今の私にとっての大切な言葉なのではないかと思った。一生懸命に生きる事が一番大切だということを感じ取ることができた。
- ・成功する人には師がいるということが分かった。
- ・福沢諭吉の「あまり人生を重くみず、捨て身になって何事も一心になすべし」というのを見て、もうすこし気楽に生きてもいいのだと感じた。
- ・吉田松陰、岡倉天心、小泉信三、北里柴三郎、を聞いた。何をした人物か分かった。動画が見づらかった。
- ・福沢諭吉の多くの名言を聞いて、たくさんの意味が入っていると思った。歴史上の人々の言葉をもっと知りたいと思った。
- ・吉田松陰という人物について学んだことはあったが、ここまで深く掘り下げたことは無かった。私が思っているよりはるかに熱く素晴らしい人物で心に残った。福沢諭吉の「活用なき学問は無学に等しい」という言葉が心に残った。
- ・高杉晋作はもともと好きな偉人の一人です。27歳という若さでこの世を去っているというのも一つのロマンを感じます。動如雷電、発如風雨 という言葉は気に入りました。
- ・違うタイプの人とは、合わなくて面白くなかった。吉田松陰の「行き詰ったときに、面白いと思えるかどうかによって、その後が決まってくる」。ポジティブに生きて行けば先がうまくいくのだと思いました。
- ・北里柴三郎が研究者を続け、日本のために働く精神が素晴らしいと思った。

<タイプ5>

- ・吉田松陰の「行き詰った時こそ、」。「どんなに行き詰った状況でもプラス思考で考えてみようと思った。
- ・吉田松陰の言ったことを思い出し、仕事に命が宿っていたらいいなと思う。
- ・3人の偉人の名言集を見てとても深い言葉が多くあると感じた。自分が目指す存在がいることは重要であると思う。
- ・集団で行動するよりは、一人で物事を進めた方が楽だというのは当たっていた。
- ・エニアグラムは、あんなに簡単なものだったのに多くの人が自分に当てはまっって正直驚いた。
- ・福沢諭吉の「一度、学問入らば甥に学問すべし。農たらば大農となれ、商たらば大商となれ」今の大学生に大切な言葉。
- ・自分の人生経験の糧として養えればと思った。これから先どんな人が紹介されるのか楽しみになりつつある。
- ・吉田松陰は場所が無くなっても中二階の狭い所で本を読んでいたの、ここまでして本を読むことに驚きました。
- ・松下村塾は私も実際に行ったことがあります。吉田松陰が黒船に乗り込んだ勇気や、名言から、松陰のようなチャレンジする心掛けが現代人に必要だと思いました。
- ・タイプ5の知識や情報の部分が、高杉晋作や吉田松陰に少し通じる部分がありました。
- ・名言は心にひっかかるものがあつた。メモを取れる程文字をはやく書けなかったので家へ帰ってじっくりと読みたい。
- ・福沢諭吉の「自分の悪い所を認め直す」が気になりました。
- ・何でもできるオールラウンドプレイヤーである福沢諭吉さんは偉大な天才であると感じた。

<タイプ?>

- ・吉田松陰が短期間で400冊以上の本を読んで、ものすごい知識を得たのだと思った。
- ・福沢諭吉は、現在の日本にも影響を与えていてすごい。「あまり人生を重く見ず、捨て身になって何事も一心になすべし」は印象に残った。福沢諭吉に興味が出てきた。
- ・福沢諭吉は昔から現在にかけて偉大な人だと改めて感じた。
- ・福沢諭吉の名言が今の私にぴったりだと思った。努力は天命さえも変える。自分の力を発揮できるところに運命は開ける。
- ・高杉晋作の師が吉田松陰であることを知った。
- ・1853年の黒船来航について講義で知りました。
- ・昔の人々の意志の強さや実行力、誠実さに感動を受けました。尊敬できると思った人物は福沢諭吉です。「あまり人生を重く見ず、捨て身になって何事も一心になすべし。」という言葉があつた。

<タイプ6>

- ・歴史上の偉人の言葉は心に訴える。その人の生き様を見れば説得力や影響力が身に染みる。
- ・高杉晋作が靖国神社を作った人物だと初めて知りました。吉田松陰の学ぶ動機と志を持ってという言葉に共感した。福沢諭吉の「とかく人生を重く見ず、捨て身で一心に進め」という言葉に、勇気づけられると共に、私も行き詰った時にこの言葉を思い出し、一心に進んでいこうと思いました。
- ・吉田松陰は黒船に乗り込もうとして1年2か月を獄中で過ごしていましたが、学ぶ事をやめずに492冊を読破したと聞いて驚きました。
- ・吉田松陰の動画を観て、知らないことばかりだった。高杉晋作との関わりを知って面白かった。
- ・高杉晋作など明治に有名な人を育てた吉田松陰が誰よりも偉大な人だと思った。
- ・福沢諭吉の名言に心打たれるものが多かった。
- ・もう少し時代背景を詳しく聞きたかった。
- ・スクリーンが見えづらかった。
- ・これから何十年何百年たって現代の人がお札になるとしたら誰になるのかなと思った。
- ・過去の偉人も失敗や信じがたい生き方をしてきたのだと思った。
- ・「空想はずなわち実行の原案」である。エニアグラムは当たっていて驚きました。
- ・とても面白かった。
- ・名言を見て、今まで自分がどれだけ無駄な時間を過ごしてきたかを感じた。
- ・歴史上の偉人達の名言を見て、たくさんの名言があり、印象に残った。吉田松陰の行動には驚くことばかりだった。

<タイプ7>

- ・気になった名言は、福沢諭吉の「活用なき学問は無に等しい」と、「人は己を美しくして、美に近づく権利が生まれる」です。墮落した人には、なりたくない。
- ・同じタイプは、同じことを書いている人がいて、見ていて面白かったです。福沢諭吉さんの名言を見て、自分も何かに影響を与えられる人になりたいと思った。
- ・動画を観ながら勉強した。「動けば雷電の如く、発すれば風雨の如し、、、」という言葉が印象的です。「太閤も天保弘志化に生まれなば何も得せずに死ぬべかりけり」この言葉を読んで、講義など頑張って、死ぬとき「良い人生だったな」と後悔しない人生を送りたいと思うことができました。
- ・偉人と言われる人たちは名言集を観ただけだが、やはり流石だと感じた。
- ・本物になるまで20年。これは人それぞれにいろいろな考えができると思う。
- ・吉田松陰の「行き詰ったときに面白いと思えるかどうかによってその後が決まってくる」に惹かれた。
- ・「学とは、人たる所以を学ぶなり」吉田松陰の言葉はとても心に響きました。吉田松陰の「読書しつつ、要点を一つ抄録する」という勉強法がすごいと思いました。福沢諭吉の「進めざる者は退き、退かざる者は必ず進む」「活用なき学問は無学に等しい」「あまり人生を重く見ず、捨て身になって何事も一心になすべし」が心に残った。吉田松陰と福沢諭吉がとても魅力的だなと思った。
- ・有名な人でも目標にしている人がいた。私も目標にする人を見つけて大成したいと思う。
- ・目標、リスペクトする人をこの講義で見つけたい。
- ・周りを気にせず自分の考えをしっかりと持った人がいるものだったと思った。

<タイプ8>

- ・「思う事言うべからず、言わざること行ふべからず」(福沢諭吉)、「人は己を美しくして初めて美に近づく権利を得る(岡倉天心)。偉人達が、どのような考えを持って成し遂げたのかを自分なりに考えてみようと思う。
- ・タイプ8の自覚は無かったが、夕食前の行動のプリントはまさに自分だと思った。驚いた。吉田松陰についてもっと知りたいと思った。
- ・立志を学ぶのに名言や哲学から入った方が分かり易いと思った。ペンは剣より強し、活用なき学問は無学。
- ・目標となる人や尊敬する人は誰一人作らないようにしていた。けれど、参考にする人は作った方がいいのかな?と話を聞いて感じた。
- ・歴史の授業で聞いた言葉よりも深い言葉がありました。
- ・福沢諭吉は本当に良いことを言っていると思った。
- ・タイプの話聞きながら程と思うことがあった。
- ・3人の偉人を見て、私もスケールの大きい人間になりたいと思った。
- ・福沢諭吉が印象に残った。名言を知らなかった。「ペンは剣より強し」を今の自分に置き換えたら、「ペンは遊びより強し」だと思いました。これから頑張る福沢諭吉が財布の中にいっぱい入るよう自分も頑張ろうと思いました。

<タイプ?>

- ・福沢諭吉の「進まざる者は退き、退かざる者は進み続ける」が私の心に響いた。挑戦する大切さや挑戦する際に気を重く持たないことが大切であると学んだ。
- ・福沢諭吉の言葉はとても重みがある。「自由とわがままの違いは、他人を妨げるかどうかである」
- ・名言の中の人生は重く考えずに軽い気持ちで思い切ろうという言葉でした。深い意味のある言葉です。
- ・福沢諭吉の言葉はどれも深いものばかりだった。亡くなってからもたくさんの人に影響を与えられるのは凄いことだと思います。タイプ別の分析はとても面白いです。
- ・福沢諭吉の「天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らず」という言葉が印象に残った。
- ・吉田松陰の行動力に驚いた。高杉晋作は天然痘を患っていたのに奇兵隊を組織していたことに驚いた。
- ・吉田松陰が好きです。ペリー船艇に乗り込むという行動がとてまかついいです。
- ・志がある方が必ず良い方向へ進むと思います。
- ・もともと福沢諭吉を目標としているので、興味が湧いた。

<タイプ9>

- ・高杉晋作は、上海で拳銃を2つ買っていた。その一つを坂本龍馬に贈ったと書いてある。なぜこのような贈り物をしたのか調べてみたいと思う。
- ・「学生の趣意は読書に非ず、精神の働きのあり。」福沢諭吉の名言はもっともだと思いました。
- ・名言にはその人の生き方が表されていたので、生き方のお手本になる。
- ・「自由とわがままの違いは他人を妨げるかどうかである」(福沢諭吉)。すごく共感した。

- ・福沢諭吉が興味深かった。「自分の失敗に気づいて直していくことは恥ずかしいことではなく、新しい一歩につながる」。自分の逃げているところ、間違っている所に気づいていけるように学んでいきたい。
- ・人は目指すものがなければ大きくなれないと感じた。師を持つことで自分の人生を良い方向に導けるのではないかと思った。高杉晋作はたった2年間で塾生に教える説き、多大な影響を与えており、とても特殊な人物で強い志を持っていると感じた。
- ・目の前にある事を一生懸命にやるのが大切。